

平成18(2006)年

佛説無量壽經

日	月	火	水	木	金	土
平成17(2005)年 12月				1 旧10月30日 先負	2 旧11月朔日 大安	3 旧2日 赤口 御正忌報恩講 仏教壮年会
4 旧5日 先勝 御正忌報恩講 仏教婦人会	5 旧4日 友引	6 旧5日 先負	7 旧6日 仏滅 大雪	8 旧7日 大安 成道会	9 旧8日 赤口 漱石忌	10 旧9日 赤口
11 旧10日 友引 ふるさと探訪	12 旧11日 先負	13 旧12日 仏滅	14 旧13日 大安	15 旧14日 赤口 年賀郵便受付開始	16 旧15日 先勝	17 旧16日 友引
18 旧17日 先負	19 旧18日 仏滅	20 旧19日 大安 本願寺お煤払	21 旧20日 赤口 仏教講座	22 旧21日 先勝 冬至	23 旧22日 友引 天皇誕生日	24 旧23日 先負
25 旧24日 仏滅 無村忌	26 旧25日 大安	27 旧26日 赤口	28 旧27日 先勝 御用納め	29 旧28日 友引	30 旧29日 先負	31 旧12月朔日 赤口 大晦日 除夜会

仏説無量壽經の翻訳

仏説無量壽經は、ご法事で三
部經をお勤めする場合、最初の
席でお勤めするお經です。

このお經は、いくつか中国語
に翻訳されていますが、わたし
たちが読んでいるのは、3世紀
の康僧鎧という方が翻訳され
たものです。

康僧鎧という三蔵法師は、現
在のウズベキスタン・カザフス
タン（アフガニスタンの北）に
あたる中央アジアの出身だった
ようです。お經を伝えるため
に、シルクロードを越えて中国
の洛陽（現在の西安）に嘉平四
年（252年）に着いたのです。

当時の洛陽は、三国志で有名
な曹操の作った曹魏という国の
都でした。そこで康僧鎧は大切
にされ、中国最初の仏教寺院で
ある、白馬寺に住み、たくさん
のお經をインドの言葉から中国
語に翻訳したのでした。

その中でも、もっとも有名な
お經が、この『仏説無量壽經』
でした。御開山・親鸞聖人は、
この無量壽經を「真実の教えと
は何かと問われれば、それは無
量壽經である。このお經には阿
弥陀如来のご本願が説いてあ
り、南無阿弥陀仏というお名号
というすがたでわたしたちに働
いていてくださる」とお喜びに
なっております。

社会福祉法人 醍醐福祉会

石田保育園

Tel 0879 (43) 1451 Fax 0879 (23) 2053

浄土真宗本願寺派

醍醐山 願院 徳勝寺

Tel 0879 (43) 2023 Fax 0879 (23) 2008

徳勝寺門信徒会館

だいが (醍醐)

Tel Fax 0879 (43) 5772

平成17年12月

平成18(2006)年

2月

日	月	火	水	木	金	土
27	28	29	30	1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

1

睦月 January

日	月	火	水	木	金	土
29	30	31	1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	1	2	3	4

日	月	火	水	木	金	土
① 旧12月2日 先勝 正月 御正会	2 旧3日 友引 振替休日	3 旧4日 先負	4 旧5日 仏滅	5 旧6日 大安 小寒	6 旧7日 赤口	7 旧8日 先勝
8 旧9日 友引 ふるさと探訪	9 旧10日 先負 成人の日	10 旧11日 仏滅 仏教婦人会	11 旧12日 大安	12 旧13日 赤口	13 旧14日 先勝	14 旧15日 友引 仏教壮年会
15 旧16日 先負 本願寺・御正忌報恩講	16 旧17日 仏滅	17 旧18日 大安	18 旧19日 赤口	19 旧20日 先勝	20 旧21日 友引 大寒	21 旧22日 先負
22 旧23日 仏滅 黙阿弥忌	23 旧24日 大安	24 旧25日 赤口	25 旧26日 先勝 仏教講座	26 旧27日 友引	27 旧28日 先負	28 旧29日 仏滅
29 旧正月朔日 先勝 旧正月	30 旧2日 友引	31 旧3日 先負	1	2	3	4

ふだん着の野良が着替へる雪衣

木村時恵

無量寿経の聴衆

無量寿経だけでなく、お経は、かならずどこで誰が聞いたお経かが冒頭に出てきます。無量寿経は、蒼巖岨山(クリドラクータ)という山でのお話です。この場所は、インドのマガダ国の都・王舎城の東北にある山で、鷲の頭のかたちをしてるので、霊鷲山という呼び方もされています。

この蒼巖岨山の山中に、一万二千人ものお弟子さま方と一緒におられたときのお話です。おもな方では、摩訶迦葉・舍利弗・目犍連・阿難などがおられました。

他にも、大乘の菩薩さまたちも一緒にいられた。普賢菩薩・文殊菩薩・弥勒菩薩などです。これらの菩薩さまがたは、みんな普賢菩薩のとうとお徳にしたがって修行を続けられておられており、すべての功徳を身につけておられました。そして、さまざま場所に出かけて、上手に人々を教え導き、はかり知れないほどの多くの世界の人々を仏になるよう働いておられました。

このようなすべれた菩薩さまがたが、この無量寿経をお説きになる場を集っておられたので、お釈迦さまも大変お喜びになっておられました。

社会福祉法人 醍醐福祉会

石田保育園

Tel 0879 (43) 1451 Fax 0879 (23) 2053

浄土真宗本願寺派

醍醐山 願院 徳勝寺

Tel 0879 (43) 2023 Fax 0879 (23) 2008

徳勝寺門信徒会館

だいご (醍醐)

Tel Fax 0879 (43) 5772

平成18(2006)年

1月

3月

2

如月 February

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31	1	2	3	4

日	月	火	水	木	金	土
26	27	28	1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	1

日	月	火	水	木	金	土
29	30	31	1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	1	2	3	4

梅の園
阿波の里山
バスの旅

田中清美

阿難の恵見

そのとき、お釈迦さまは喜びに満ちあふれ、お姿も清々しく、お顔も輝いてあらわれました。そのお姿を見た阿難さまが「今日はとくに神々しいお姿ですが、どなたかの仏さまと互いに念じ合われたのですか」とお尋ねになりました。

お釈迦さまは、その質問をお喜びになって、

「阿難よ。たいへん良い質問ですね。その質問は、深い智慧で人々を哀れむ心から起ったものでしょう。すばらしいことです。

如来は、そなたと比べものにならないほど、この上ない慈悲の心で迷いの世界を哀れんでおられます。如来さまがこの世にお出ましになるのは、教えを説いて人々を救い、真実の利益を恵みたいとお考えになるからなのです。

しかし、このような仏さまに出会って教えを受けることができるのは、本当に難しいことなのです。その如来さまに出会うためにも、そなたの質問は他の人々にも大きな利益がある大切な質問なのです。」

とお話になり、如来さまにお会いさせていただくために、阿弥陀如来さまのご修行の話からお説き始められたのです。

社会福祉法人 醍醐福祉会

石田保育園

Tel 0879 (43) 1451 Fax 0879 (23) 2053

浄土真宗本願寺派

醍醐山 願院 徳勝寺

Tel 0879 (43) 2023 Fax 0879 (23) 2008

徳勝寺門信徒会館

だいが (醍醐)

Tel Fax 0879 (43) 5772

平成18(2006)年

4月

2月

日	月	火	水	木	金	土
29	30	31	1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	1	2	3	4

3

弥生 March

日	月	火	水	木	金	土
26	27	28	29	30	31	1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	1	2	3	4	5	6

日	月	火	水	木	金	土
26	27	28	1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	1

ひなかがり大仁王像の山内に

松原勇

法蔵菩薩さま

はかり知れないはるかな昔、
錠光如来という仏さまが世に出
られ、数限りない人々を教え、
すべての人々を悟りに導かれ、
この世を去られました。つづい
て、五十二名の仏さまたちが、
次々とお出ましになって、人々
をお導きになりなり、すでにこ
の世を去っていかれました。

その次にお出ましになった仏
さまのお名前は「世自在王仏」
と言われ、すべての人々を教え
導いておられました。

そのとき一人の国王があら
れ、世自在王仏の説法を聞いて
深く喜び、悟りを求める心を起
こし、国も王位もすてて出家し
て「法蔵」と名のられたのでし
た。法蔵菩薩は、才能にもあふ
れ志もかたく、余人を超えて優
れておられました。

法蔵菩薩は、世自在王仏のみ
前に礼拝して、「わたしのため
に広く教えを説いてください。
それに従って修行し、この上な
くうるわしい仏国土を整えたい
のです」とお願いされたので
す。

そこで世自在王仏は法蔵菩薩
に、二百十億の仏さまの国土を
お説きになり、すべてを目の当
りにお見せになったのです。

この法蔵菩薩さまこそ、後の
阿弥陀如来さまなのです。

社会福祉法人 醍醐福祉会

石田保育園

Tel 0879 (43) 1451 Fax 0879 (23) 2053

浄土真宗本願寺派

醍醐山 願院 徳勝寺

Tel 0879 (43) 2023 Fax 0879 (23) 2008

徳勝寺門信徒会館

だいが (醍醐)

Tel Fax 0879 (43) 5772

平成18(2006)年

3月

5月

日	月	火	水	木	金	土
26	27	28	1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	1

4

卯月 April

日	月	火	水	木	金	土
30	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31	1	2	3

日	月	火	水	木	金	土
26	27	28	29	30	31	1 <small>旧3月4日 赤口</small>
2 <small>旧5日 先勝</small>	3 <small>旧6日 友引 隠元忌</small>	4 <small>旧7日 先負 仏教婦人会</small>	5 <small>旧8日 仏滅 清明</small>	6 <small>旧9日 大安</small>	7 <small>旧10日 赤口</small>	8 <small>旧11日 先勝 灌仏会 仏教壮年会</small>
9 <small>旧12日 友引 大仏の日 ふるさと探訪</small>	10 <small>旧13日 先負</small>	11 <small>旧14日 仏滅</small>	12 <small>旧15日 大安</small>	13 <small>旧16日 赤口 啄木忌</small>	14 <small>旧17日 先勝</small>	15 <small>旧18日 友引</small>
16 <small>旧19日 先負</small>	17 <small>旧20日 仏滅 土用</small>	18 <small>旧21日 大安</small>	19 <small>旧22日 赤口</small>	20 <small>旧23日 先勝 穀雨</small>	21 <small>旧24日 友引</small>	22 <small>旧25日 先負</small>
23 <small>旧26日 仏滅</small>	24 <small>旧27日 大安</small>	25 <small>旧28日 赤口 法然忌</small>	26 <small>旧29日 先勝 仏教講座</small>	27 <small>旧30日 友引</small>	28 <small>旧4月朔日 仏滅</small>	29 <small>旧2日 大安 みどりの日</small>
30 <small>旧3日 赤口</small>	<p>多くのお仏さまのお浄土では、一つのお浄土にすべてが満足できるものはありませんでした。いくら素晴らしいお浄土でも悲しみや苦しみをもった人々がまったくおられないお浄土はなかったのです。</p> <p>その一つひとつのお浄土の、良いことだけを喜び、すべてが満足するお浄土を作り上げることを、法蔵菩薩さまは願われたのでした。それは誰一人も悲しみを感じることはないお浄土を作ることでした。</p> <p>法蔵菩薩さまは、こうして二百十億のさまざまなお浄土が修めた清らかな修行を選び取られました。こうして願と行とを選び取り終えて、世自在王仏のもとへ行き礼拝して、みずからの修行を選び終わったことを報告された。</p> <p>そこで世自在王仏は「そなたの清らかな願をここで述べて、すべての人々に聞かせて、みなに悟りを求める心を起こさせて、喜びを与えてあげなさい。それを聞いた菩薩たちは、この教えを修行して、それによってはかり知れない大いなる願を満たすことができるだろう」と仰せにいられたのでした。</p>					

手をあげば歩道にひかる新入生

安部 浩

法蔵菩薩の願い

社会福祉法人 醍醐福祉会
石田保育園
Tel 0879 (43) 1451 Fax 0879 (23) 2053

浄土真宗本願寺派
醍醐山 願院 **徳勝寺**
Tel 0879 (43) 2023 Fax 0879 (23) 2008

徳勝寺門信徒会館
だいご (醍醐)
Tel Fax 0879 (43) 5772

4月

平成18(2006)年

6月

日	月	火	水	木	金	土
26	27	28	29	30	31	1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	1	2	3	4	5	6

5

皐月 May

日	月	火	水	木	金	土
28	29	30	31	1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	1

日	月	火	水	木	金	土
30	1 旧4月4日 先勝 メーデー	2 旧5日 友引 八十八夜 仏教婦人会	3 旧6日 先負 憲法記念日	4 旧7日 仏滅 国民の休日	5 旧8日 大安 こどもの日	6 旧9日 赤口 立夏・鑑真忌
7 旧10日 先勝 母の日 ふるさと探訪	8 旧11日 友引	9 旧12日 先負	10 旧13日 仏滅	11 旧14日 大安	12 旧15日 赤口	13 旧16日 先勝 仏教壮年会
14 旧17日 友引	15 旧18日 先負 葵祭	16 旧19日 仏滅	17 旧20日 大安	18 旧21日 赤口	19 旧22日 先勝	20 旧23日 友引
21 旧24日 先負 小満 親類縁者会	22 旧25日 仏滅	23 旧26日 大安	24 旧27日 赤口	25 旧28日 先勝	26 旧29日 友引	27 旧5月朔日 大安
28 旧2日 赤口	29 旧3日 先勝	30 旧4日 友引	31 旧5日 先負 仏教講座	1	2	3

迷い道 棚田重なり 山蒼し

松下正弘

四十八願(1)

法蔵菩薩さまの願は、すべてで四十八もの願いでした。大きく分ける(三つ)になります。

初めに、私たちがこの世界で悲しんでいる一つひとつを、お浄土においてはすべて解決するという願いです。

地獄や餓鬼道や畜生のような生活に嘆いている人をご覧になつて、そのような人がわたしの浄土では一人もいないようにと願われました。また、お浄土から生まれ変わるときにも、そのような世界にあちることがないようにと願われます。

見目や姿形で悲しお人には、わたしのお浄土ではそのようなことがないようにと願われました。五体が満足していないこと、でつらい思いをしたものには、わたしの浄土に生まれるときには、五体満足であるようにと、貧乏や両家に生まれなかつたこと、で苦しんだものには、わたしの浄土から生まれ変わるときには、そのようなことのないようにと願われ、女性であったこと、で苦しめたものには、男の姿で生まれるようにと願ってくださったのです。

一つひとつ、私たちが今悲しみ苦しんでいることを、すべて知り尽くして、すべてを解決しようとしておられるのです。

社会福祉法人 醍醐福祉会

石田保育園

Tel 0879 (43) 1451 Fax 0879 (23) 2053

浄土真宗本願寺派

醍醐山 願院 徳勝寺

Tel 0879 (43) 2023 Fax 0879 (23) 2008

徳勝寺門信徒会館

だいが (醍醐)

Tel Fax 0879 (43) 5772

平成18(2006)年

7月

5月

日	月	火	水	木	金	土
30	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31	1	2	3

6

水無月 June

日	月	火	水	木	金	土
25	26	27	28	29	30	1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31	1	2	3	4	5

日	月	火	水	木	金	土
28	29	30	31	1	2	3
				旧5月6日 仏滅	旧7日 大安	旧8日 赤口
4	5	6	7	8	9	10
旧9日 先勝	旧10日 友引	旧11日 先負 芒種 仏教婦人会	旧12日 仏滅	旧13日 大安 長明忌	旧14日 赤口	旧15日 先勝 源信忌 仏教壮年会
11	12	13	14	15	16	17
旧16日 友引 入梅 ふるさと探訪	旧17日 先負	旧18日 仏滅	旧19日 大安	旧20日 赤口	旧21日 先勝	旧22日 友引
18	19	20	21	22	23	24
旧23日 先負 父の日	旧24日 仏滅 桜桃忌	旧25日 大安	旧26日 赤口 夏至	旧27日 先勝	旧28日 友引	旧29日 先負 林橋忌
25	26	27	28	29	30	1
旧30日 仏滅	旧6月朔日 赤口	旧2日 先勝	旧3日 友引	旧4日 先負	旧5日 仏滅	
			仏教講座			

深き杜 女人高野やさみだれる

寒川博吉

四十八願(2)

つぎに、私たちがお浄土に生まれたら、本当の悟りを得させてください。仏さまにさせてください。願っています。

わたしの国の人々が、思い計らったり、その身に執着したくないようにと願ってあげられます。また、わたしの国の人々が必ず悟りを得て仏さまとなることを願っています。

また、仏さまの持つておられる神通力もすべて身につくように、不思議な力で他の仏さまたちを供養することができるように、この上ない智慧を得て、自由に説法することができるように、と願われています。

さらに、この衆生であつても、阿弥陀さまの光に照らされて心が和らぐように、阿弥陀さまのお名前を聞いて信心を起し、喜びが沸くように、決して変わることはない幸福になるように、と願われています。

このように、後に阿弥陀さまとなる法蔵菩薩さまの願いは、ほとんどすべて今生きている私たちの苦しみ悲しみをすべてご存知で、わたしたちを揺るぎない幸福な仏にしたいと願って下さってあげられます。その阿弥陀さまのお慈悲は、今、この時にわたしの働いてるのです。

社会福祉法人 醍醐福祉会

石田保育園

Tel 0879 (43) 1451 Fax 0879 (23) 2053

浄土真宗本願寺派

醍醐山 願院 徳勝寺

Tel 0879 (43) 2023 Fax 0879 (23) 2008

徳勝寺門信徒会館

だいが (醍醐)

Tel Fax 0879 (43) 5772

平成18(2006)年

6月

8月

日	月	火	水	木	金	土
28	29	30	31	1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	1

7

文月 July

日	月	火	水	木	金	土
30	31	1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31	1	2

日	月	火	水	木	金	土
25	26	27	28	29	30	1 <small>旧6月6日 大安 山開き・海開き</small>
2 <small>旧7日 赤口 半夏生</small>	3 <small>旧8日 先勝</small>	4 <small>旧9日 友引 仏教婦人会</small>	5 <small>旧10日 先負 栄西忌</small>	6 <small>旧11日 仏滅</small>	7 <small>旧12日 大安 小暑・七夕</small>	8 <small>旧13日 赤口 仏教壮年会</small>
9 <small>旧14日 先勝 鵲外忌 ふるさと探訪</small>	10 <small>旧15日 友引</small>	11 <small>旧16日 先負</small>	12 <small>旧17日 仏滅</small>	13 <small>旧18日 大安 盆迎え火</small>	14 <small>旧19日 赤口</small>	15 <small>旧20日 先勝 盂蘭盆会 夏祭り・盆会</small>
16 <small>旧21日 友引 藪入り・盆送り火</small>	17 <small>旧22日 先負 海の日</small>	18 <small>旧23日 仏滅</small>	19 <small>旧24日 大安</small>	20 <small>旧25日 赤口 夏土用入</small>	21 <small>旧26日 先勝</small>	22 <small>旧27日 友引</small>
23 <small>旧28日 先負 大暑</small>	24 <small>旧29日 仏滅 地藏盆・河童忌</small>	25 <small>旧7月朔日 先勝</small>	26 <small>旧2日 友引 仏教講座</small>	27 <small>旧3日 先負</small>	28 <small>旧4日 仏滅 乱歩忌</small>	29 <small>旧5日 大安</small>
30 <small>旧6日 赤口 露伴忌</small>	31 <small>旧7日 先勝</small>	願っております。				

高原に咲くあじさい
お息をのむ

矢木康夫

四十八願(3)

そして最後に、今はまだお浄土に生まれたいとも思っていない私たちに向けて、是非ともお浄土にすくい取って、必ず本当の仏さまに仕上げたいと願われています。

阿弥陀さまの智慧の光が、届かない場所がないように、阿弥陀さまの寿命に限りがあつて、未来の人たちに教えが届かないことがないように、と時と所を超えよう願われました。

続いて、すべての仏さまが阿弥陀さまのお名前を賞賛して、広められるよう願われました。もし、すべての人が悟りを求める心を起こさなくて、わたしの国に生まれたいと願わないなら、命を終わるときに、多くの聖者とともにその人の前に現れようと願われました。

最後に、すべての人々がさとりを求めることを起こして、ほんの少し念ずれば、わたしの浄土に生まれるようにと、願っております。

これらの願によって、阿弥陀さまは、私たち一人ひとりの悲しみ苦しみを知っていてくださっているところから、

社会福祉法人 醍醐福祉会

石田保育園

Tel 0879 (43) 1451 Fax 0879 (23) 2053

浄土真宗本願寺派

醍醐山 願院 徳勝寺

Tel 0879 (43) 2023 Fax 0879 (23) 2008

徳勝寺門信徒会館

だいが (醍醐)

Tel Fax 0879 (43) 5772

7月

平成18(2006)年

9月

日	月	火	水	木	金	土
25	26	27	28	29	30	1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31	1	2	3	4	5

8

葉月 August

日	月	火	水	木	金	土
27	28	29	30	31	1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30

日	月	火	水	木	金	土
30	31	1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31	1	2

足早に雲の山這う厄日かな

佐々木嘉清

今もおられる阿弥陀さま
 法蔵菩薩ほつぞうぼさつの四十八の願と、その修行のありさまを、お釈迦さまが説き終わると、阿難が「法蔵菩薩は、仏さまとなって、すでにこの世を去ってしまったのでしょうか。それとも、今現においでになるのでしょうか。」と尋ねると、お釈迦さまは、「法蔵菩薩はすでに無量寿むりょうじゆ仏(阿弥陀さま)という仏さまとなって、現在、ここから西へ十萬億の国々を過ぎた『極樂』という名前の国におられる」とお答えになり、「どのくらいの時が経ったのでしよう」という阿難の問いに、「阿弥陀さまが、おさとりを開かれてから、すでにおよそ十劫という永い時が経っている。」

阿弥陀さまの仏国土は、金・銀・瑠璃・珊瑚・琥珀など七つの寶石でできており、限りなく広い世界である。これらの宝石は、互いに入り混じってキラキラとまばゆく光り輝いている。

また山や谷、海もくぼ地もなく、地獄や餓鬼や畜生などの苦しみの世界はない。春夏秋冬の四季の別もなく、暑からず寒からず、調和のとれた心地よい世界である。」

と、お答えくださったことが。

社会福祉法人 醍醐福祉会
石田保育園
 Tel 0879 (43) 1451 Fax 0879 (23) 2053

浄土真宗本願寺派
 醍醐山 願院 **徳勝寺**
 Tel 0879 (43) 2023 Fax 0879 (23) 2008

徳勝寺門信徒会館
だいご (醍醐)
 Tel Fax 0879 (43) 5772

平成18(2006)年

8月

10月

日	月	火	水	木	金	土
30	31	1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31	1	2

9

長月 September

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31	1	2	3	4

日	月	火	水	木	金	土
27	28	29	30	31	1 <small>旧閏7月9日 先負 二百十日</small>	2 <small>旧10日 仏滅 天心忌</small>
3 <small>旧11日 大安</small>	4 <small>旧12日 赤口</small>	5 <small>旧13日 先勝 仏教婦人会</small>	6 <small>旧14日 友引</small>	7 <small>旧15日 先負</small>	8 <small>旧16日 仏滅 白露・千代尼忌</small>	9 <small>旧17日 大安 重陽の節句 仏教壮年会</small>
10 <small>旧18日 赤口 ふるさと探訪</small>	11 <small>旧19日 先勝 二百二十日</small>	12 <small>旧20日 友引</small>	13 <small>旧21日 先負</small>	14 <small>旧22日 仏滅</small>	15 <small>旧23日 大安</small>	16 <small>旧24日 赤口</small>
17 <small>旧25日 先勝</small>	18 <small>旧26日 友引 敬老の日</small>	19 <small>旧27日 先負 子規忌</small>	20 <small>旧28日 仏滅 彼岸入り</small>	21 <small>旧29日 大安</small>	22 <small>旧8月朔日 友引</small>	23 <small>旧2日 先負 秋分の日</small>
24 <small>旧3日 仏滅</small>	25 <small>旧4日 大安</small>	26 <small>旧5日 赤口 彼岸明け</small>	27 <small>旧6日 先勝 仏教講座</small>	28 <small>旧7日 友引</small>	29 <small>旧8日 先負</small>	30 <small>旧9日 仏滅</small>

山門をせりあぐるかに風の萩

瀬尾照夫

光の仏 阿弥陀さま

阿弥陀さまは、他のどの仏さまよりも神々しいのです。その光明は、十方のどの仏さまの世界にも照らしつづけます。

そのため、阿弥陀さまのことを

- ① 無量光仏… はかり知れない光
 - ② 無辺光仏… 果てしない光
 - ③ 無碍光仏… 障げのない光
 - ④ 無对光仏… 比べものない光
 - ⑤ 焰王光仏… 炎の王たる光
 - ⑥ 清浄光仏… 清らかな光
 - ⑦ 欢喜光仏… 喜びの沸く光
 - ⑧ 智慧光仏… 智慧の光
 - ⑨ 不断光仏… 耐えない光
 - ⑩ 難思光仏… 人智の及ばない光
 - ⑪ 無称光仏… 名づけられない光
 - ⑫ 超日月光仏… 月日を越えた光
- と別のお名前でお呼びします。
- この光明に照らされるものは、煩惱がすべて消え去って、身も心も和らいで、喜びに満ちあふれて善い心が生まれるのです。
- お釈迦さまだけでなく、すべての仏さまや菩薩の方々が阿弥陀さまをたたえておられ、人々がその阿弥陀さまの光の功德に照らされて念ずれば、願いのままに阿弥陀さまのお浄土に生まれることができます。そうして仏と成ることができ、この光をたえつづけます。

社会福祉法人 醍醐福祉会

石田保育園

Tel 0879 (43) 1451 Fax 0879 (23) 2053

浄土真宗本願寺派

醍醐山 願院 徳勝寺

Tel 0879 (43) 2023 Fax 0879 (23) 2008

徳勝寺門信徒会館

だいご (醍醐)

Tel Fax 0879 (43) 5772

平成18(2006)年

9月

11月

10

神無月 October

日	月	火	水	木	金	土
27	28	29	30	31	1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30

日	月	火	水	木	金	土
29	30	31	1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	1	2

日	月	火	水	木	金	土
1 旧8月10日 大安 更衣	2 旧11日 赤口	3 旧12日 先勝 仏教婦人会	4 旧13日 友引	5 旧14日 先負 達磨忌	6 旧15日 仏滅 中秋の名月	7 旧16日 大安
8 旧17日 赤口 寒露 ふるさと探訪	9 旧18日 先勝 体育の日	10 旧19日 友引	11 旧20日 先負	12 旧21日 仏滅 芭蕉忌	13 旧22日 大安	14 旧23日 赤口 仏教壮年会
15 旧24日 先勝 下元	16 旧25日 友引	17 旧26日 先負	18 旧27日 仏滅	19 旧28日 大安	20 旧29日 赤口 土用入	21 旧30日 先勝
22 旧9月朔日 先負	23 旧2日 仏滅 霜降	24 旧3日 大安	25 旧4日 赤口 仏教講座	26 旧5日 先勝	27 旧6日 友引 松陰忌	28 旧7日 先負
29 旧8日 仏滅	30 旧9日 大安	31 旧10日 赤口	1	2	3	4

岬には白い燈台いとし雲

松下房子

わたしたちの姿

お釈迦さまは、わたしたちが
仏さまの教えを聞いても信じら
れないことを、この世のわたし
たちの現実の姿を説いて、教え
てくださいました。

「田があれば田に悩み、家があ
れば家に悩む。家畜や金銭や衣
食、日常の品々に至るまで、あ
ればあるで、無くなったり減つ
たりしないだろうかと思い悩
む。それらについてとにかく心
配して、何度もため息をついて
嘆き恐れ、痛ましい生活を続け
ている。

逆に、貧しいものは、モノが
なくて苦しんでいる。田がなけ
れば田が欲しいと悩み、家がな
ければ家が欲しいと悩む。家畜
や金銭から日常の品々まで、な
ければそれが欲しいと悩むので
ある。たまたま一つでも手に入
ると、他の一つが欠けないかと
悩み、すべてを揃えてしまいた
いと思うのである。

人間は情けにとらわれて生き
ており、結局独りで生まれて独
りで死んでいくのである。それ
なのに、どうして世間の雑事を
捨てないのだろうか。

この世に生きている限り、本
当の幸せには辿りつけない。わ
たしのように、揺るぎない本当
の幸せに気づいて、この世の雑
事を捨てなさい。」

社会福祉法人 醍醐福祉会

石田保育園

Tel 0879 (43) 1451 Fax 0879 (23) 2053

浄土真宗本願寺派

醍醐山 願院 徳勝寺

Tel 0879 (43) 2023 Fax 0879 (23) 2008

徳勝寺門信徒会館

だいが (醍醐)

Tel Fax 0879 (43) 5772

平成18(2006)年

12月

10月

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31	1	2	3	4

11

霜月 November

日	月	火	水	木	金	土
26	27	28	29	30	1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31	1	2	3	4	5	6

日	月	火	水	木	金	土
29	30	31	1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	1	2

賽銭の届く音して萩の風

瀬尾富美子

阿弥陀さまが現れる

この世の現実を見せ終わって、お釈迦さまは阿難に、阿陀さまを礼拝しなさいとあっしやいます。

すると、阿弥陀さまは大いなる光明を放って、すべての仏さまの国々をお照らしになります。それはこの世の終わりの大洪水の時、すべてのものが沈んでしまうように、金色の光の下に沈んでしまつて隠されてしまったのです。阿弥陀さまは、その光の海の上に高くそびえてお姿を現されて、阿難だけできなくすべての人々がお会いさせていただきます。

続いてお釈迦さまは、阿弥陀さまのお浄土の清らかさを示して、そこに住んでいる仏菩薩たちがいただいた、功德をお説きになります。

お浄土の人々は、本当の幸せになつています。そして他の仏さまたちを供養することができ、他の人の言葉の真実を聴くことができ、正しく教えを伝えることができるのです。

ところが阿弥陀さまの教えを疑った人たちは、このようなご利益を失つてしまいます。そこでお釈迦さまは、阿弥陀さまのこの上ない智慧を、疑いなく信じるのが大切なのだと言ひ返し教えてくださったのです。

社会福祉法人 醍醐福祉会

石田保育園

Tel 0879 (43) 1451 Fax 0879 (23) 2053

浄土真宗本願寺派

醍醐山 願院 徳勝寺

Tel 0879 (43) 2023 Fax 0879 (23) 2008

徳勝寺門信徒会館

だいが (醍醐)

Tel Fax 0879 (43) 5772

平成18(2006)年

11月

平成19年1月

12

師走 December

日	月	火	水	木	金	土
29	30	31	1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	1	2

日	月	火	水	木	金	土
31	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31	1	2	3

日	月	火	水	木	金	土
26	27	28	29	30	1 <small>旧10月11日 友引</small>	2 <small>旧12日 先負 仏教壮年会 御正金輪忌講</small>
3 <small>旧13日 仏滅 仏教婦人会 御正金輪忌講</small>	4 <small>旧14日 大安</small>	5 <small>旧15日 赤口 下元</small>	6 <small>旧16日 先勝</small>	7 <small>旧17日 友引 大雪</small>	8 <small>旧18日 先負 成道会</small>	9 <small>旧19日 仏滅 漱石忌</small>
10 <small>旧20日 大安 ふるさと探訪</small>	11 <small>旧21日 赤口 沢庵忌</small>	12 <small>旧22日 先勝</small>	13 <small>旧23日 友引 煤払い</small>	14 <small>旧24日 先負</small>	15 <small>旧25日 仏滅</small>	16 <small>旧26日 大安</small>
17 <small>旧27日 赤口</small>	18 <small>旧28日 先勝</small>	19 <small>旧29日 友引</small>	20 <small>旧11月朔日 大安 仏教講座</small>	21 <small>旧2日 赤口</small>	22 <small>旧3日 先勝 冬至</small>	23 <small>旧4日 友引 天皇誕生日</small>
24 <small>旧5日 先負</small>	25 <small>旧6日 仏滅 蕪村忌</small>	26 <small>旧7日 大安</small>	27 <small>旧8日 赤口</small>	28 <small>旧9日 先勝 御用納め</small>	29 <small>旧10日 友引</small>	30 <small>旧11日 先負 大納会</small>

愛用のつば広帽子旅小春

広瀬延枝

本当の幸せになるために
私たちがもっとも悲しいことは、本当の幸せとはどういうことなのかを知らないことです。
仏さまこそ、本当の幸せとは何かを、正しく知っている方なのです。だからこそ、本当の幸せになるために、仏さまに出会わなくてはならないのです。
ところが、実際のお釈迦さまは、この後この世を去ってしまったのでした。お釈迦さまは「仏さまがこの世にお出ましになるのは、本当に珍しいことなので、出会うことはもっと難しいことなのだよ。」とおっしゃるのです。
「仏さまに会って教えを聞くことはもっと難しい、聞いてもそれを信ずることはもっと難しい。さらにこの世の幸せをすべて、本当の幸せを求めようとするのは、もっと難しい。」
だからこそ、ついこの阿弥陀さまの教えを説くことにしたのである。あなたたちは、阿弥陀さまの教えを聞いて、教えのままに信ずればよい。
この世の人々を哀れんで、わたしは阿弥陀さまの教えだけはいままで留めておいて、「と、この世にお出ましになった目的を述べられたのでした。」

31
旧12日 仏滅
大晦日
除夜会

と、この世にお出ましになった目的を述べられたのでした。

社会福祉法人 醍醐福祉会
石田保育園
Tel 0879 (43) 1451 Fax 0879 (23) 2053

浄土真宗本願寺派
醍醐山 願院 **徳勝寺**
Tel 0879 (43) 2023 Fax 0879 (23) 2008

徳勝寺門信徒会館
だいご (醍醐)
Tel Fax 0879 (43) 5772